

上下水道一体部門

応募事例名

上下水道一体となった緊急時対応体制の確保

応募団体名)名古屋市上下水道局

○水道・下水道の維持管理体制の集約(連携)による、緊急時の対応体制を構築
水道管・下水道管の維持管理及び施工管理を行う事務所を集約し、市内4方面別に『管路センター』を設立。水道管・下水道管に起因して発生する漏水・道路陥没などの事故に対し、夜間・休日を含め迅速に現場対応できる体制を構築した。

●管路センターの集約による体制

- ・市内4方面別に管路センターを設置
- ・同一拠点で、水道・下水道部門が維持管理等実施
- ・施工管理と維持管理にかかる事務作業の効率化

●緊急時の24時間初動対応体制

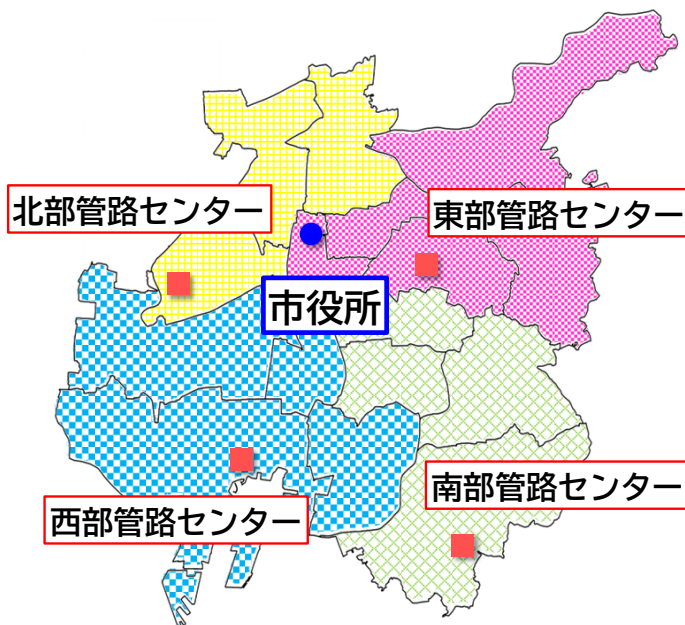
- ・夜間や休日の事故等発生時も、水道・下水道部門の連携のうえ、迅速な現場対応が可能

●部門間の連携強化

- ・合同の工程会議等で工事情報の共有
- ・事故等発生時の迅速な意思決定と対応力の向上
- ・労働災害などの事故情報を部門間で共有し、再発防止の推進

●災害時対応への展開

- ・上下水道連携による円滑な復旧活動を実施



今後も、水道部門・下水道部門の連携を強化し、
安心と快適をみなさまのもとへ届けます！！

PRポイント

○水道・下水道の連携強化：従来は別々で対応していた水道部門・下水道部門の業務を一体管理することで、情報共有や意思決定を迅速化。

○現場対応力の向上：4方面別の管路センター配置により、事故発生時に迅速な初動対応が可能。

○災害・緊急時への強い体制：夜間・休日を含め、水道部門・下水道部門の連携による24時間対応体制を構築し、市民生活の安全・安心を確保。

⇒上下水の連携により、激甚化・頻発化している自然災害に負けないレジリエントなライフラインの構築

取組に関するエピソード

市内4管路センターへの集約までには、平成12年に水道局と下水道局が統合した上下水道局の発足後、水道配水事務所の集約、水道・下水道事務所の所管区域の統一など、長期間にわたり段階的に進められ、令和6年度の北部管路センター開設までに、長い年月を要しました。

令和6年能登半島地震の災害応援活動では、管路センター集約による、水道・下水道部門の日常からの連携を活かし、被災地における円滑かつ迅速な復旧支援を行うことができました。



給排水設備課 課長
多和田 力